



## 南アフリカのブライデキャニオン。

ブライド峡谷は、アフリカの大自然の驚異のひとつと言われるほど、緑豊かな渓谷です。ブライド川（喜び）とトリュー川（悲しみ）が合流する、約 300 平方キロメートルのブライド川キャニオン自然保護区にある渓谷です。その巨大な丸い岩、ロンダベルは、アフリカの伝統的な丸い小屋を連想させる。晴れた日にはモザンビークとの国境まで見渡すことができます。

ブライド川渓谷は、全長 26km、深さ 800m で、主に赤い砂岩でできています。渓谷のルートは短いので、周囲のブッシュの風景も見ることができ、ブライド川の源流まで行くことができます。

楽しく飛んで、探検してください、コチラの願いです。

フライトのコツ:

GPS のコースがあり、取得することができます。

天気は自由に変更できる。ライブの天気はプリセットされています。

お好みで ATC をお使いください。

インテリアビューの HUD は、設定でオフにすることができます。

No. of Legs: 5

Total distance: 173 nm

# Table of Contents

Legs .....	3
Leg 1: FAPB - FUQR .....	3
MASD-Massingir Dam.....	3
LMAS-Lago Massingir .....	4
RELE-Rio dos Elefantes.....	4
LETA-Letaba .....	4
OLRC-Olifant Rest Camp.....	5
FUQR-Phalaborwa Airport .....	5
Leg 2: FUQR - FUQO .....	6
OLBR-Olifants Bridge.....	6
NHLA-Nhlaralumi .....	7
FUQO-Phalaborwa Airport .....	7
Leg 3: FUQO - FAHY .....	8
PHAM-Phalaborwa Mine .....	8
RURL-Rusermi River Lodge.....	9
UKNR-Ukhozi Nature Reserve.....	9
THBR-Three Bridges.....	9
FAHY-Hippo Pools Airport.....	10
Leg 4: FAHY - FAPO .....	11
BLYD-Blyde River .....	11
SAND-Sandsproit .....	11
GLEN-Glencoe Baobab.....	12
R527-Route 527 .....	12
GABR-Gate to Blayde River Canyon .....	13
BLRD-Blyde River Dam.....	13
MORE-Moremela .....	13
FAPO-Pilgrims Rest Airport.....	14
Leg 5: FAPO - FALL .....	15
LISR-Lisbon River .....	15
BLYD-Blyde.....	15
PILG-Pilgrims Rest.....	16
MTSH-Mount Sheba.....	16
SBLR-Source of the Blyde River .....	16
FALL-Lydenburg.....	17

## LEGS

## LEG 1: FAPB - FUQR

Departure: Massingir Airport (FAPB)  
 Destination: Phalaborwa Airport (FUQR)  
 Distance: 29,4 nm



## MASD-Massingir Dam



Distance: 4,0 nm  
 Dist. from Dept.: 4,0 nm  
 Dist. to Dest.: 25,4 nm  
 True Course: 354°  
 Magnetic Course: 12°

モザンビークからスタートし、リオ・ドス・エレファンテスを堰き止めて作られたマッシンギール・ダムの一部を飛行します。ダムはアースフィルダムで、高さ 48m、長さ 4,600m。水力発電所のタービンは、40 メガワットの電力を供給します。

モザンビークは、エネルギーを完全に自給自足できるのです。現在、全発電所の総生産量は、自国の必要量の 159% を占めている。とはいえ、モザンビークは他国と電力取引をしている。小さな町や村には、まだ電気が通っていない。

1972 年に工事が始まり、1977 年にダムがほぼ完成しました。しかし、動乱や内戦で最終的な試運転ができず、また、建設上の欠陥も多く、ダムが決壊しそうになったこともあった。その後、リハビリテーションを行い、海外から多額の資金を集め、2006 年ようやく運用を開始しました。

座って、オートパイロットに GPS コースを任せて、フライトを楽しんでください。後で溪谷に到着してからナビゲーションを介在させることになります。

もうひとつのちょっとしたコツは、飛行中に静かに景色を楽しみながら読書をしたときは、時々一時停止ボタンを押すこと。これで、このミッションが少しは楽しくなりますね。

**LMAS-Lago Massingir**

Distance: 2,7 nm  
 Dist. from Dept.: 6,6 nm  
 Dist. to Dest.: 22,7 nm  
 True Course: 293°  
 Magnetic Course: 311°

自動操縦装置がラゴ・マッシンギールに進路をとる。リンポポ国立公園内にある湖。この地域は、ナイルワニの重要な繁殖地でもあります。そのため、クルーガー国立公園の管理局からは、オリファンツ峡谷の浸水について、これらの地域が破壊される可能性があるため、懸念されていたのだ。このダムによって、全長 8km のクロコダイル渓谷に土砂が堆積する。

**RELE-Rio dos Elefantes**

Distance: 10,3 nm  
 Dist. from Dept.: 16,9 nm  
 Dist. to Dest.: 12,5 nm  
 True Course: 240°  
 Magnetic Course: 258°

かつてオリファンツと呼ばれ、現在はレペルと呼ばれているリオ・ドス・エレファンテスの河口に向かって飛行し、クロコダイル渓谷を通過することになります。この峡谷は観光客が立ち入ることにはできず、ナイルワニの世界最大の繁殖地となっています。湖を離れる前に、河口に広大な湿地帯を見ることができます。これらは、レペル川の堆積物が沈殿した地域である。

**LETA-Letaba**

Distance: 6,6 nm  
 Dist. from Dept.: 23,5 nm  
 Dist. to Dest.: 5,9 nm  
 True Course: 246°  
 Magnetic Course: 263°

次のウェイポイントでは、レタバ川がレペル川に流れ込む。そうこうしているうちに、国境を越えて南アフリカに入り、クルーガー国立公園にやってきました。

レタバという名前は、セペディ語で「砂の川」を意味します。砂地の河川敷は、野生動物、特にこの地域に生息するゾウに出会える絶好の場所です。この川は、周囲の乾燥したモパネ原野の中にある緑のオアシスです。

クルーガー国立公園は、南アフリカ最大の狩猟保護区です。南はクロコダイル川、北はジンバブエとの国境川であるリンポポ川までがその範囲である。南北に約 350km、東西に平均 54km、面積は約 2 万平方キロメートルです。そのため、アフリカで最も大きな国立公園のひとつとなっています。

1898年3月26日、ポール・クルーガー大統領のもと、大自然を守るためにサビー・ゲーム・リザーブとして設立された。1926年に国立公園に指定され、現在の名前に改名された。ビッグファイブを含む哺乳類 147 種、鳥類 507 種、爬虫類 114 種、魚類 49 種、両生類 34 種が生息しています。

### OLRC-Olifant Rest Camp



Distance:	4,3 nm
Dist. from Dept.:	27,7 nm
Dist. to Dest.:	1,6 nm
True Course:	258°
Magnetic Course:	275°

あとは、川の左側のコースか GPS のコースに従って、丘の上に発見できるオリファント・レスト・キャンプに向かいます。象、ライオン、カバ、ワニ、ワシなどが頻繁に訪れる広い川底の素晴らしい眺めを楽しむことができます。シンプルなバンガローや豪華なゲストハウスもある。

### FUQR-Phalaborwa Airport



Distance:	1,6 nm
Dist. from Dept.:	29,4 nm
Dist. to Dest.:	0,0 nm
True Course:	324°
Magnetic Course:	342°

空港というのは、ちょっと言い過ぎかもしれませんがね。キャンプに近づいたときにすでに見えていたはずの、いくつかの要塞を持つ滑走路だ。この「空港」に乗り入れている航空会社は見つかりませんでした。ここで幸せな着地点を得てください。

**LEG 2: FUQR - FUQO**

Departure: Phalaborwa Airport (FUQR)

Destination: Phalaborwa Airport (FUQO)

Distance: 33,6 nm

**OLBR-Olifants Bridge**

Distance:	5,6 nm
Dist. from Dept.:	5,6 nm
Dist. to Dest.:	28,1 nm
True Course:	208°
Magnetic Course:	225°

スタート後、川沿いで方向を決めるか、GPS のコースに従ってください。

レベル川を国境とするムプマランガ州とリンボポ州を結ぶ橋が数本架かっているだけである。それ以外はすべて、特殊なオフロード車やトラックでなければ通れない浅瀬です。ここで国道 7 号線が横断し、南アフリカとナミビアを結ぶ生命線となっている。ここにはすでに既存の橋があり、交通量に対応しきれずに崩落の危険性があった。新しい橋は 2018 年に引き渡されました。

## NHLA-Nhlralumi



Distance:	10,4 nm
Dist. from Dept.:	15,9 nm
Dist. to Dest.:	17,7 nm
True Course:	277°
Magnetic Course:	294°

次のウェイポイントでは、レベル川の重要な支流であるナーラルミ川の河口に出ます。農地の灌漑や大雨時の水利のために、川を何か所か堰き止めたのです。洪水は近隣の村々に破壊をもたらし、死者も出している。

## FUQO-Phalaborwa Airport



Distance:	17,7 nm
Dist. from Dept.:	33,6 nm
Dist. to Dest.:	0,0 nm
True Course:	251°
Magnetic Course:	268°

ここも、ヘンドリック・ヴァン・エックという名前を冠しているが、アプローチで気がつくように、「空港」というのは大げさかもしれない。結局、ヨハネスブルグへのフライトは2020年までここで定期的に行われ、空港の建物もまだ残っているのだ。近くにはクルーガー国立公園の入り口もあり、これから出発します。

この街には、もう一つ特筆すべき特徴があります。いたるところにカバの注意書きがあり、庭やゴミ箱が荒らされることもあるそうです。おそらく、この動物はライオンよりも早く人間を殺すことができると言われています。とにかく、それをテストするのは避けよう。

無事着陸してください。

**LEG 3: FUQO - FAHY**

Departure: Phalaborwa Airport (FUQO)

Destination: Hippo Pools Airport (FAHY)

Distance: 33,2 nm

**PHAM-Phalaborwa Mine**

Distance:	9,6 nm
Dist. from Dept.:	9,6 nm
Dist. to Dest.:	23,6 nm
True Course:	337°
Magnetic Course:	355°

この飛行場から北の方へ少し迂回する。そこに銅山がある。珍しいのは、大きなクレーター状の窪みがあることで、ここで銅を含む鉱石が露天掘りで採掘されるからだ。このブロックテープ鉱山は、年間約5万トンの銅を生産しています。現在、深さは700mで、この種の鉱山としては世界最大規模です。湖は汚染された地下水やかん水の貯水池で、その水は貯水池の中で徐々に蒸発し、幸いにもアフリカ諸国でよく見られるように、川には流されない。その結果、リン酸塩は近隣の工場で肥料に加工されます。

**RURL-Rusermi River Lodge**

Distance:	6,8 nm
Dist. from Dept.:	16,4 nm
Dist. to Dest.:	16,8 nm
True Course:	210°
Magnetic Course:	227°

ルセルミ・リバー・ロッジは、これから飛び立つバルレー自然保護区の中にあります。バルレー自然保護区は、APNR (Associated Private Nature Reserves) のメンバーです。この野生動物保護活動の一環として、APNR の保護区、私有地所有者、クルーガー国立公園間のフェンスはすべて撤去されました。この取り組みによるエコロジー効果で、この地域はエコツーリズムの人気スポットにもなっています。保護活動により、野生動物の数は確実に増えています。現在、バルレー保護区の面積は約 40,000 ヘクタール。このエリアは、より多くの土地所有者がこの取り組みに参加し、組み込まれることで、定期的に拡大されています。

**UKNR-Ukhozi Nature Reserve**

Distance:	6,3 nm
Dist. from Dept.:	22,8 nm
Dist. to Dest.:	10,5 nm
True Course:	221°
Magnetic Course:	238°

これから入るウホーツィ自然保護区は、私有地であり、一般には公開されていない。ウホジには柵はないが、警備は厳重で、南アフリカのローベルドに生息するあらゆる種類の野生動物が生息している。絶滅危惧種であるクロサイや神秘的なヒョウなど、ウホーツィはあらゆる野生生物のための環境モザイクを呈しています。

**THBR-Three Bridges**

Distance:	9,4 nm
Dist. from Dept.:	32,2 nm
Dist. to Dest.:	1,1 nm
True Course:	265°
Magnetic Course:	282°

オリファンツ橋からここまでの間、橋は一度も見えていないが、ここでは2つの道路橋（国道40号線と530号線）と鉄道橋の3つが同時に出現している。さらに、ここではマフツウィ川がレペルに流れ込んでいます。

橋は、ここ数平方キロメートルの広さを持つ自治体、マルレンのコミュニティの一部をつないでいます。コミュニティの名前は、そこに生えているマルラの木を意味するセペディ語に由来しています。その果実から作られるのがアマルーラリキュールです。

### FAHY-Hippo Pools Airport



Distance:	1,1 nm
Dist. from Dept.:	33,2 nm
Dist. to Dest.:	0,0 nm
True Course:	201°
Magnetic Course:	218°

3つの橋に近づいたところで、すでに空港を発見しているはずですが。この「空港」にも、公式なフライトの接続はない。ただ、この空港にはサファリフライトを運航するチャーター会社が入居していることがわかった。でも、カバの水浴び場（その名の通り）は見つけられませんでした;-)

こちらでも安全でソフトランディングしてください。

**LEG 4: FAHY - FAPO**

Departure: Hippo Pools Airport (FAHY)  
 Destination: Pilgrims Rest Airport (FAPO)  
 Distance: 38,5 nm



**BLYD-Blyde River**



Distance: 3,5 nm  
 Dist. from Dept.: 3,5 nm  
 Dist. to Dest.: 35,0 nm  
 True Course: 163°  
 Magnetic Course: 181°

目的地に近づいている。離陸して間もなく、川沿いに南下すると、レペル川とブライド川の合流地点が見えてきます。今から数百万年前、あなたがこれから飛ぼうとしている砂岩の地形を形成したのは、ブライド川である。ブライド川は、南からレペル川に流れ込んでいます。

**SAND-Sandsproit**



Distance: 3,8 nm  
 Dist. from Dept.: 7,3 nm  
 Dist. to Dest.: 31,2 nm  
 True Course: 159°  
 Magnetic Course: 176°

次のウェイポイントでは、ブライド川はサンズプロイト川を経て支流となる。

### GLEN-Glencoe Baobab



Distance:	3,5 nm
Dist. from Dept.:	10,8 nm
Dist. to Dest.:	27,7 nm
True Course:	179°
Magnetic Course:	197°

そのまま西へ進み、ブライド川を越えて南へ向かうと、グレンコー・バオバブに到着します。GPS コースでは、サンズプロイト川の上空を通ります。でも、どっちに飛ぶかはあなた次第です。

グレンコー・バオバブは、残念ながらシミュレーターでは見えません。南アフリカで最も強く、2 番目に大きいバオバブの木であり、おそらく世界で最も強い木である。この木は Glencoe Farm にあり、幹の直径は 15.9 メートルです。王冠の直径は 37 メートルです。樹齢は 1,800 年以上と推定される。

### R527-Route 527



Distance:	3,8 nm
Dist. from Dept.:	14,5 nm
Dist. to Dest.:	24,0 nm
True Course:	238°
Magnetic Course:	256°

今度は川沿いを進みます。次の著名なポイントは、国道 527 号線の道路橋です。

マルレンの集落に向かう道のすぐ近くには、世界最大のバオバブの木があります。幹の直径は前標本ほど大きくないが、背丈はやや高い。

## GABR- Gate to Blayde River Canyon



Distance:	5,4 nm
Dist. from Dept.:	19,9 nm
Dist. to Dest.:	18,5 nm
True Course:	159°
Magnetic Course:	177°

川沿いをさらに数マイル進むと、ブライド川溪谷のゲートに到着します。遅くともこの時点では、マニュアル操作に切り替えて、溪谷を縫うように流れる川を追った方がよいでしょう。GPS のコース通りに飛ぶと、非常に高いところを飛ぶことになり、ほとんど平坦なブッシュランドを見ることとなります。できるだけ低空飛行で、溪谷の最高の眺めを堪能してください。

## BLRD-Blyde River Dam



Distance:	3,5 nm
Dist. from Dept.:	23,4 nm
Dist. to Dest.:	15,1 nm
True Course:	216°
Magnetic Course:	233°

コーン山周辺を東へ飛ぶと、ブライデ・リバー・ダムに到着します。

1974年に完成したこのダムは、高さ71m、奥行き22mのダム壁があります。主な目的は、ブライド川灌漑地区の灌漑用水路への安定供給と、ファラボルワの鉱山・工業用水への追加供給です。

## MORE-Moremela



Distance:	8,3 nm
Dist. from Dept.:	31,7 nm
Dist. to Dest.:	6,8 nm
True Course:	174°
Magnetic Course:	192°

そのまま貯水池の上空を南下し、湖に流れ込むブライド川が見えたら、その流れに沿ってモレメラに向かいます。次の9マイルは溪谷の中をお楽しみください。

モレメラでは、ブライド川とトレル川が合流しています。また、ここは「Bourke's Luck Potholes」と呼ばれる洗掘や洗掘の現場でもある。金鉱探しをしていたバーナード・トーマス・パークは、実際にここで金を発見し、一攫千金を狙った。残念ながら、彼がそれで満足したのかどうか、私は知る由もない。

**FAPO-Pilgrims Rest Airport**

Distance:	6,8 nm
Dist. from Dept.:	38,5 nm
Dist. to Dest.:	0,0 nm
True Course:	189°
Magnetic Course:	207°

川を右折し、ピルグリムスレスト空港に着陸する。その名の通り、この風景が残した強い印象を処理するために、ここで短い休憩を取ることができます。

**LEG 5: FAPO - FALL**

Departure: Pilgrims Rest Airport (FAPO)  
 Destination: Lydenburg (FALL)  
 Distance: 38,0 nm



**LISR-Lisbon River**



Distance: 2,4 nm  
 Dist. from Dept.: 2,4 nm  
 Dist. to Dest.: 35,6 nm  
 True Course: 199°  
 Magnetic Course: 218°

スタートし、ブライド川を南下し、次にリスボン川と合流するところまで進みます。

**BLYD-Blyde**



Distance: 3,8 nm  
 Dist. from Dept.: 6,1 nm  
 Dist. to Dest.: 31,9 nm  
 True Course: 110°  
 Magnetic Course: 128°

リスボン川沿いに進むと、山の上に村が見えてきます。川や溪谷の名前の由来となった地名、ブライドである。その北側には、もう一つの見どころである「ベルリンの滝」があり、キャンドルウォータ

一フォールに分類される。高さ約 80 メートルの切り立った崖の中央から流れ落ちる滝。滝の上部にある細い自然の水路がキャンドルの芯になり、ここから落ちる水は扇形に広がってキャンドルの残りの部分を形成し、下の洗掘に落ちます。

この地域の地名の由来は、ゴールドラッシュに沸く鉱夫たちが、自国の都市や町にちなんで名づけたという。ベルリンの滝は、このようにドイツの首都にちなんで命名された。この川の名前がリスボンにちなんで付けられた理由がわかりましたね。

## PILG-Pilgrims Rest



Distance:	5,5 nm
Dist. from Dept.:	11,6 nm
Dist. to Dest.:	26,4 nm
True Course:	241°
Magnetic Course:	259°

ここで南西に曲がり、登り、GPS のコースに従って山越えをして、先ほど着陸した飛行場の名前にちなんで名付けられたピルグリムスレストという集落に向かいます。

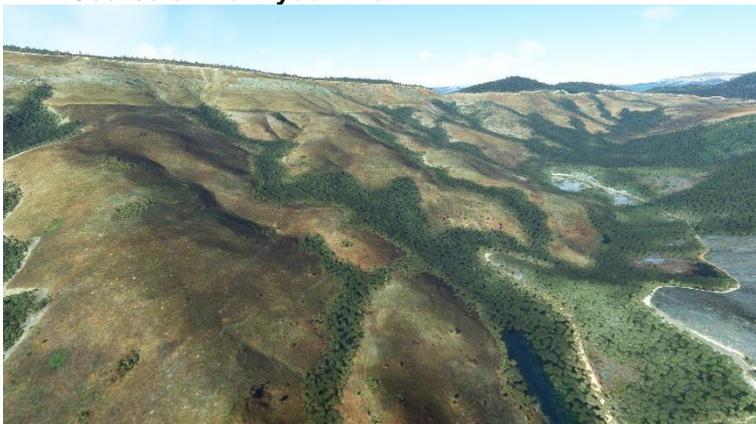
## MTSH-Mount Sheba



Distance:	7,2 nm
Dist. from Dept.:	18,9 nm
Dist. to Dest.:	19,2 nm
True Course:	196°
Magnetic Course:	214°

ピルグリムスレストまで来たら、再びブライド川に沿って進みます。次のウェイポイントでは 3 本の川が流れていて、すべてブライドと呼ばれています。右翼にシェバ山の山並みが聳え立っている。

## SBLR-Source of the Blyde River



Distance:	2,3 nm
Dist. from Dept.:	21,2 nm
Dist. to Dest.:	16,8 nm
True Course:	182°
Magnetic Course:	201°

3つの源流に到着したら、真ん中の源流を南方向に進みます。やがて、斜面にそびえるブライドの正式な源流が見えてきます。

**FALL-Lydenburg**

Distance:	16,8 nm
Dist. from Dept.:	38,0 nm
Dist. to Dest.:	0,0 nm
True Course:	257°
Magnetic Course:	276°

さて、今回のミッションの最後の着陸地であるライデンブルグ飛行場へ。この飛行場は、プライベートな飛行場で、大歓迎です。例えば、風車の交換、フェンスの修理、草刈りなど、滞在中にオーナーを手伝うことで、着陸料を節約することができるのです。その後、快適な帰路につくことができます。

#####

無事に着陸し、今回のミッションも無事終了しました。おめでとうございます。今後のご活躍と安全な着陸をお祈りします。Koschi。